

御住職・教会主管者様へ

このチラシを、寺族・門徒の方にもご覧いただけますようお願い申し上げます。

京都教区仏教青年会主催 公開研修会

真宗大谷派の 装束の歴史と文化

- ・昔は黒衣だけだった？
- ・八藤紋や牡丹紋の由来は？
- ・直綴と裳附の違いは？
- ・東西本願寺で装束は違うの？

などなど、私たちの装束が成立した背景について学びたいと思います。
関心のある方なら、どなたでも結構です。ふるってご参加ください。

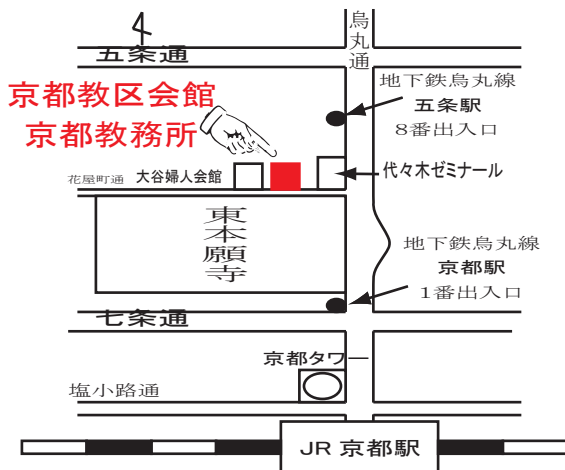
日時 2008年6月18日(水) 午後6時30分～9時

会場 京都教務所 2階大講堂
京都市下京区花屋町通烏丸西入

講師 山口 昭彦 師 (東本願寺内事部出仕)

昭和36年、福井県生まれ。大谷大学大学院仏教文化修士課程修了。
真宗大谷派京都教区・大聖寺教区駐在教導等を経て、現在、内事部出仕。
ご門首の宗務に関する事務及び装束の調進や着装(衣紋)を担当。
また、有職研究会の世話人を勤め、真宗史や有職故実の調査研究を行う。

参加費 京都教区仏教青年会員は無料。
会員以外1,000円。



京都教務所：075-351-5260

お問い合わせ・連絡先

藤井 洋 (仏教青年会委員長・山城第1組閉唱寺)

電話・FAX 075-344-7729

E-mail pxc02655@nifty.com

真宗大谷派京都教区仏教青年会